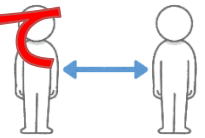


インフルエンザの流行に備えて

～私たちがすべきこと～



姫路工学キャンパス新型コロナウイルス感染症総合対策会議

2020.10.19

Withコロナ時代に迎えるインフルエンザシーズンはどうなる？

例年、12月頃からインフルエンザの流行シーズンを迎えます。

新型コロナウイルス感染症が流行している状況下でのインフルエンザシーズンはどうなるのでしょうか？

また、私たちがすべきことは何でしょうか？

今年の冬は新型コロナとインフルエンザが両方流行る？

インフルエンザは例年12月～3月頃に流行します。

新型コロナについては現在、季節性の流行は確認されていませんが、「暑くて湿度が高い環境」よりも「寒くて湿度が低い環境」の方が伝播しやすいという報告もあり、夏よりも冬に流行しやすい可能性があります。つまり、この冬はインフルエンザと新型コロナが同時に流行する可能性があります。

新型コロナとインフルエンザの症状はよく似ている

新型コロナとインフルエンザはどちらも呼吸器感染症であり、症状がよく似ています。

発熱、頭痛、筋肉痛、頭痛、咳といった症状はどちらでも見られます。

一方、息切れ、嗅覚・味覚障害という症状は新型コロナに特徴的と言えますが、必ずみられる症状というわけではないため、症状だけでこの2つの感染症を区別することは実際には難しいことが多いです。

症状	新型コロナ 軽症～重症まで 幅広い 季節性は不明	かぜ 緩徐に発症 年中みられる だから続く	インフルエンザ 突然の発症 冬に多い 通常5～7日で軽快
発熱	平熱～高熱	平熱～微熱	高熱
咳	◎	◎	◎
咽頭痛	○	◎	◎
息切れ	○	×	×
だるさ	○	○	◎
関節痛 筋肉痛	○	×	◎
頭痛	○	◎	◎
鼻水	△	◎	○
下痢	△	×	○ 特に小児で多い
くしゃみ	×	◎	×

新型コロナと風邪、インフルエンザとの症状の比較

(オーストラリア政府啓発資料より)



新型コロナとインフルエンザの違い

症状以外についてはどうでしょう。

まず、感染経路はどちらも飛沫が主であることが共通しています。

重症化しやすい人も、高齢者や基礎疾患のある方というところは共通していますが、インフルエンザでは2歳未満の小児もハイリスクとされます。

潜伏期はインフルエンザが1～4日、新型コロナが2～14日であり、症状の持続期間も典型的にはインフルエンザでは1週間程度で改善するのに対し、新型コロナでは2～3週に及ぶことがあります。

また、新型コロナでは発症する前にも他の人に感染をうつしてしまうことがあり、これは発症後に感染性のピークがあるインフルエンザとの大きな違いです。

	インフルエンザ	新型コロナ
感染経路	飛沫	飛沫 (接触、エアロゾル感染も)
基本再生産数	1.4～4	1.4～6.6
感染性のピーク	発症後	発症前
潜伏期	1～4日 (中央値2日)	2～14日 (中央値5日)
重症化リスク因子	65歳以上の高齢者、2歳未満の小児、免疫不全者、妊婦、肥満、慢性呼吸器疾患、慢性腎疾患など	高齢者、男性、肥満、高血圧、慢性呼吸器疾患、心疾患、2型糖尿病、がん、慢性腎疾患など
致死率	0.01～0.1%	3-5%
症状の持続期間	3-7日	2～3週
ワクチン	承認済み	未承認
診断	抗原検査	PCR検査、抗原検査、抗体検査
抗ウイルス薬	オセルタミビル (タミフル)、パロキサビル マルボキシル (ゾフルーザ) など	レムデシビル (ベルクリー)

新型コロナとインフルエンザ、どちらも疑われた場合の診断は？

前述のように、少なくとも発症してからしばらくは新型コロナとインフルエンザはよく似た症状を示します。

しかし、インフルエンザは致死率0.01～0.1%程度であるのに対し、新型コロナは数%の方が亡くなる感染症であり、この2つの感染症は決して同等に扱って良い疾患ではありません。

また、治療にはどちらも抗ウイルス薬が使用されることがありますが、インフルエンザはオセルタミビル(タミフル)など、新型コロナではレムデシビルが承認されていますが効果は不透明であり、使われるべき薬剤が異なります。

さらに新型コロナではステロイド薬が有効であるとされる一方、インフルエンザではステロイドはむしろ重症化につながる可能性があります。

したがって、この2つの感染症をしっかりと区別し、正しく診断することが重要になってきます。

例年はインフルエンザを疑った場合は症状や周囲の流行状況から検査をせずにインフルエンザと診断してしまうこともよく行われていましたが、今シーズンは新型コロナとの区別のためにインフルエンザの抗原検査を実施することが求められるでしょう。通常、インフルエンザの抗原検査は鼻咽頭拭い液を採取して行いますが、新型コロナの可能性が少しでもある場合、医療従事者は個人防護具の装着など十分な感染対策を行った上で検査を行う必要があるため、医療現場の負担が増大することが懸念されます。

コロナとインフル 同時流行を防ぐには？



今シーズンは例年と比べインフルエンザの患者数が少ない

現在、世界的にインフルエンザの患者数が減少していると報告されています。日本国内でも例年と比べてインフルエンザ患者が少ない状況が続いていることが、厚生労働省から発表されています。

今年インフルエンザが少ないのは、私たちの新型コロナ対策が奏功していることもあると考えられますが、もう一つは国と国との間の人の往来が減ったことも要因として考えられます。

10月から入国者の制限が緩和されることで、新型コロナの増加も懸念されますが、インフルエンザの増加も同時に懸念されます。今インフルエンザが少ないからといって、冬もこのまま少ないとは限りません。人の往来減少に加え、人混み等でのマスクの着用が、インフルエンザ患者数減少につながっているので、必ずマスクをしましょう。

インフルワクチン供給量は“過去最多” 焦らないで

17日からぐっと寒くなりました。姫路の最高気温の推移を見てみると、15日までは25度の暑さでしたが、17日は16℃。平年と比べてもぐっと低く、11月下旬並みの寒さだということです。新型コロナウイルスのワクチン開発が待たれますが、寒い季節になると、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念されます。

今年にはコロナもありますので、インフルエンザワクチンの接種を希望する人が医療機関に殺到しないよう、厚労省が接種順位を決めました。

接種時期の目安については、10月1日からは、65歳以上の高齢者や60歳から64歳の心臓や腎臓、呼吸器に重い持病がある人が優先。また、10月26日からは誰でも受けられますが、医療従事者や基礎疾患がある人、妊婦、生後6か月から小学2年生の子どもにも早めの接種を呼びかけています。これはあくまで目安であり、かかりつけ医によく相談して下さい。さらに今年は、6356万回分の供給を見込んでいます。これは、今のワクチンの接種が始まってから最多です。無くなってしまうことはないため、焦らないでいいでしょう。

10月 1日～	接種希望の方はお早めに 65歳以上の方（定期接種対象者）※
	<small>※65歳以上の方のほか、60歳から65歳未満の慢性高血圧・腎・呼吸器機能不全者等 ※定期接種の開始日は、お住まいの市町村で異なりますのでご確認ください。</small>
10月 26日～	上記以外の方は 10月26日まで接種をお待ちください 65歳以上の方の接種ができるよう ご協力をお願いいたします
	接種希望の方はお早めに 医療従事者 基礎疾患を有する方 妊婦 生後6ヶ月～小学校2年生 上記以外の方も接種できます

インフルエンザワクチン接種開始 今年も流行ってないけど接種した方がいい？

今年も例年と比較してインフルエンザ患者数が激減していると言われてはいますが、それでもインフルエンザワクチンを接種した方がいいのでしょうか？

インフルエンザワクチンは感染予防、重症化予防の効果がある

ワクチンを接種してもインフルエンザにかかることがあります、ワクチンを接種していない人よりもインフルエンザに罹りにくいことや、罹ったとしても重症化を防ぐことができます。

インフルエンザに罹ると重症化しやすいためワクチン接種が強く推奨される方

- ・2歳未満の小児
- ・65歳以上の高齢者
- ・呼吸器・心血管・腎・肝・血液・代謝内分泌(糖尿病含む)・神経筋疾患などの慢性疾患を持つもの
- ・免疫不全者(免疫抑制剤使用、HIV等を含む)
- ・妊娠中・出産2週間以内の女性
- ・19歳未満でアスピリン長期使用者
- ・著明な肥満(BMI>40の成人、またはBMIが2.33SDを超える小児)



インフルエンザワクチンの接種はコロナにも良い影響を与えるかもしれない

例年インフルエンザ流行前に、特にハイリスクの方はインフルエンザワクチンを接種することが推奨されています。

インフルエンザワクチンは、もしかしたらですが、新型コロナにも良い影響があるかもしれないという研究も出てきています。

JAMA(米国医師会誌)の記事によれば「65歳以上の高齢者では、インフルエンザワクチン接種をしていた方が、新型コロナによる死亡も減る」という研究が現在投稿され査読されているとのこと。

また、現在冬を迎えている南半球(ブラジル)からは、インフルエンザワクチンの予防接種を受けていた人は、そうでない人よりもインフルエンザだけでなく、新型コロナ感染症による重症化リスク・死亡リスクが減った(死亡率が17%減少)という研究もあります(査読前)。

もちろんインフルエンザワクチンを接種することで、インフルエンザの流行を抑えることが期待されますので、そういう意味でもインフルエンザワクチンの接種は推奨されます。新型コロナの予防目的にインフルエンザワクチンを接種する、というのは現時点ではやりすぎですが、頭の片隅に置いておいても良いかもしれません。

私たちがすべきこと

重要!

結局のところ私たちがすべきことは、インフルエンザワクチン接種と、手洗い、マスク着用、咳エチケット、人-人間隔を保つこと、会食を避ける、大声での会話を控える、体調不良の時は外出しないという、これまでの新しい生活様式がインフルエンザ対策にも有効ということです。

インフルエンザが実際に流行るかどうかは分かりませんが、過度な安心はせず、各自が感染対策を徹底することが流行の抑制に繋がります。重症化しやすい方と一緒に住んでいる人、接する頻度の高い人も自分の家族や大事な人にインフルエンザをうつさないためにワクチン接種が推奨されます。

自分のためだけでなく、自分の家族や大事な人を守るためにも、登校時は必ず朝の検温をし、構内ではマスク着用、ソーシャルディスタンスの順守、手洗いか手指消毒をし、インフルエンザワクチンを接種しましょう!

(引用、参考)

Yahoo ニュース 2020/9/24 <https://news.yahoo.co.jp/articles/e1cca7a98c170e2be320e4c6c62951d0241c19f2?page=1>

2020/10/1 <https://news.yahoo.co.jp/byline/kutsunasatoshi/20201001-00200772/>

Oテレ NEWS24 2020/9/24

注意する人

発熱等の風邪の症状が見られるときは、大学への通学や通勤はおやめ下さい

以下の人はコロナの相談窓口にご連絡して下さい **2020/5/4 基準が変わりました**


比較的軽い風邪の症状が続いている(4日以上は必ず)

息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)や高熱がある人(すぐに連絡)

高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患、人工透析者、免疫抑制剤利用者の軽い風邪症状(すぐに連絡)

相談窓口(風邪症状)

2020/7/1 受付時間が変わりました

名称	専用電話番号	受付時間
姫路市新型コロナウイルス相談窓口	079-289-0055	平日 9:00~19:00 土日祝 9:00~17:00
兵庫県コールセンター	078-362-9980	9:00~20:00
神戸市新型コロナウイルス専用健康相談窓口	078-322-6250	24 時間
兵庫県 LINE 公式アカウント「兵庫県-新型コロナ対策パーソナルサポート」 https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk26/covid19_line.html		

姫路工学キャンパスへの連絡窓口(感染が疑われる場合や欠席・欠勤連絡を含む)

【学生】 体調不良のときは、授業を欠席するかどうかにかかわらず、必ずいずれかの下記窓口へご連絡して下さい

名称	専用電話番号	受付時間
電気電気情報工学科、電気工学専攻、電子情報工学専攻	abs-L@eng.u-hyogo.ac.jp	24 時間
機械・材料工学科、機械工学専攻、材料放射工学専攻	abs-K@eng.u-hyogo.ac.jp	24 時間
応用化学工学科、応用化学専攻、化学工学専攻	abs-O@eng.u-hyogo.ac.jp	24 時間
学務課 (出水学務課長)	079-267-4826	平日 8:30~18:00
保健室 (八木)	079-267-4820	平日 8:30~18:00
休日、時間外窓口	080-2401-9779	夜間・休日

【教員】 研究科長もしくは専攻長もしくは下記へ

名称	専用電話番号	受付時間
総務課 (長谷川経営部次長)	079-267-4805	平日 8:30~18:00
総務課 (種谷)	079-267-4808	平日 8:30~18:00
休日、時間外窓口	080-2401-9779	夜間・休日

感染症拡大防止に
ご協力ください



【職員】

名称	専用電話番号	受付時間
総務課 (長谷川経営部次長)	079-267-4805	平日 8:30~18:00
総務課 (種谷)	079-267-4808	平日 8:30~18:00
学務課、工作課(出水学務課長兼工作課長)	079-267-4826	平日 8:30~18:00
休日、時間外窓口	080-2401-9779	夜間・休日